

令和8年度

中央安全推進大会

場所 文京シビックホール 小ホール

日時 令和8年6月15日(月)
13時30分～16時30分



全国安全週間スローガン

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

安全週間 令和8年7月1日から7月7日まで
準備期間 令和8年6月1日から6月30日まで

主催

中央労働基準監督署
文京区
公益社団法人 東京労働基準協会連合会 中央労働基準協会支部
建設業労働災害防止協会 東京支部 中央千代田文京分会
一般社団法人 文京区産業協会

大会次第

1 黙祷

2 主催者挨拶

中央労働基準監督署長

白浜 弘幸

文京区長

成澤 廣修

公益社団法人 東京労働基準協会連合会

中央労働基準協会支部長

福田 寛

3 全国安全週間実施要綱等について

中央労働基準監督署

安全衛生課 地方産業安全専門官

保角 淳也

4 ハローワーク飯田橋からのお知らせ

飯田橋公共職業安定所

雇用開発第二部長

川越 百合子

5 特別講演

「高年齢者対策と熱中症対策の推進」

東京都市大学客員教授／

事故防止研究所代表

高木 元也様

6 大会宣言

橋爪建設株式会社 取締役安全部長

武藤 聡

第14次労働災害防止計画

— 中央労働基準監督署 —

労働災害防止計画とは、労働災害を減少させることを目的に、国が取り組む事項を定めた計画であり、厚生労働大臣が策定した14次の「労働災害防止計画」を踏まえて、東京労働局では「第14次東京労働局労働災害防止計画」を定め、“トップが発信！ みんなで宣言 一人一人が「安全・安心」”をキャッチフレーズとして、計画達成（労働災害の減少）を目指します。

当署としても、「第14次東京労働局労働災害防止計画」を踏まえて、事業場における自主的な安全衛生活動を通じて

- ① 労働災害防止活動を推進し、労働災害を着実に減少させる
- ② 労働者の健康確保対策と快適な職場環境の形成を図る

を目的に、事業者や関係団体等の協力を得ながら管内の安全衛生水準の向上に努めていくこととします。

当署の現状と課題

労働災害による被災者数：令和7年1月1日～12月31日（確定値）

○死亡者数：6人

○死傷者数1,123人（新型コロナウイルス感染症を除く）

・労働災害は過去4年間にわたり増加しており、令和5年以降1,000人を超えています。特に第三次産業の災害発生比率が年々増加しており、また、建設業の死亡災害が多発しています。

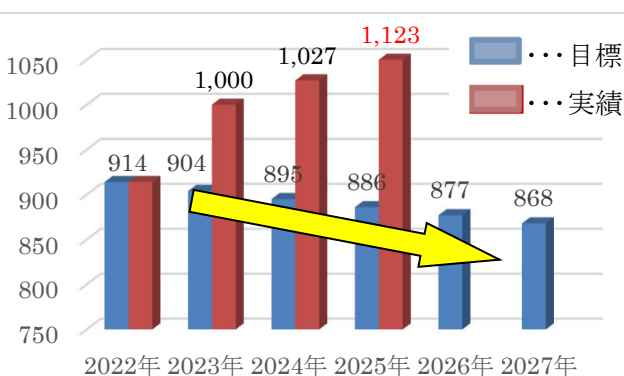
計画の期間

2023年度を初年度として2027年度までの5年間。

計画の目標

1. 死亡及び死傷災害の着実な減少

○2027年までの間、死傷災害を経年的に減少させる目標の数値を以下のとおり設定する。



① 期間中の死亡災害の目標（2027年）

4人以下

② 期間中の死傷災害の最終目標（2027年）

868人以下

※東京労働局14次防計画で示しているアウトカム指標の達成を目指した場合の期待される結果を目標数値とする。

- ・死亡災害—2022年と比較して2027年までに5%減少
- ・死傷災害—2022年と比較して2027年までに減少に転ずる（当署では5%減少を目指す）。

2. 労働者の健康確保対策及び快適職場の形成の促進

- 過重労働による健康障害、職場のストレス等による作業関連疾患を減少させる。
- 災害性腰痛等の職業性疾病を減少させる。

* 計画の達成を目指し、東京労働局の労働災害防止計画に示す取組を積極的に推進していきます。

大会宣言

私たちは、全ての職場から労働災害をなくし安全文化を定着させるため、本日「中央安全推進大会」をここに開催しました。

働く人々の安全と健康を確保することは、労働福祉の基本であり国民的課題であります。

令和7年の東京都内における労働災害は、休業4日以上死傷者数が11,085人で、前年より318人減少したものの、5年連続で1万人を超えています。また、死亡者数は36人で前年より2人の増加となりました。

中央労働基準監督署管内においては、令和7年は前年より96人増の1,123人の労働者が被災し、うち6人の尊い命が失われています。

令和7年の死傷者数の増加は、労働者の高年齢・多様化等により、転倒災害や動作の反動による腰痛といった、労働者の作業行動に起因する災害の増加が要因として考えられる状況となっています。

このような状況の中、東京労働局では、令和5年度より、第14次東京労働局労働災害防止計画を策定し、「Safe Work TOKYO」の下、「トップが発信！ みんなで宣言 一人一人が『安全・安心』」をキャッチフレーズに、すべての関係者が労働の場における安全と健康確保の重要性を共有するとともに、地域全体にその必要性を広く浸透させ、効果的な取り組みの実施につなげていく活動を展開しており、本年は4年目となっています。

本年度の全国安全週間のスローガンは、

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

であります。

本大会を契機に、このスローガンの着実な実施を図るとともに、参加者みんなが労働災害防止に向けた新たな決意を共有し、全力で取り組むことをここに宣言します。

令和8年6月15日

令和8年度中央安全推進大会
参加者一同